

2026 年度 後期 溶接作業指導者資格 再認証申請のご案内

一般社団法人 日本溶接協会
溶接管理技術者認証委員会
溶接作業指導者運営委員会

「溶接作業指導者」資格は、3 年毎に実施されるサーベイランスを 2 回受けることで、最長 9 年間有効です。10 年目以降も資格を継続するには再認証の審査を受ける必要があります。

再認証の審査は 9 年目の 1 年間に 2 回受ける機会があり、保有されている資格の有効期限によって受審可能な時期が異なります。お手元の資格の有効期限をご確認の上、再認証の申請をお願いします。

1. 再認証審査の該当者

お手元の適格性証明書（カード）に記載されている有効期限をご確認ください。この案内は、再認証審査の機会が初めての方と 2 回目の方にお送りしています。

1.1 有効期限：2027 年 2 月 28 日の適格性証明書を保持している方

証明書番号：WL456、WL904 ～ WL980、WL2037 ～ WL2175、WL2954 ～ WL2996

（まだ再認証審査を未受審で、現在有効な適格性証明書を保持している登録者）

2026 年度前期にまだ申請しておらず、今回の申請を辞退されると資格は失効します。

今回は最後の案内となりますので、「再認証の申請」を是非、ご検討ください。

1.2 有効期限：2027 年 8 月 31 日の適格性証明書を保持している方

証明書番号：WL3000 ～ WL3046

（ただし、現在有効な適格性証明書を保持している登録者）

9 年目となる 2026 年度後期または 2027 年度前期のいずれかに「再認証の申請」を行ってください。なお、2027 年度前期の再認証審査をご希望の場合には、2027 年 3 月にあらためてお送りする「再認証申請のご案内」にて講習会の開催日時を確認の上、お申込みください。

表 1 再認証審査の機会

有効期限	2026 年度		2027 年度	
	前期	後期（今回）	前期	後期
2027 年 2 月 28 日	終了	○	×	×
2027 年 8 月 31 日	×	○	○	×

○：再認証審査の対象期間 ×：再認証審査の対象期間外

2. 再認証の審査方法

再認証の審査は、最近における溶接に関する講習会等の参加実績と再認証申請書の審査により行います。講習会等の参加については次の 3 つの方法があり、(1)、(2)、(3) いずれかの方法で申請してください。

(1) 日本溶接協会主催の WES 8107 による「溶接作業指導者のための講習会」の場合

この講習会は初めてこの資格を取得される方を対象とした 3 日間の講習会（表 2 参照）ですが、再認証審査の対象者は、講習会の **2 日目と 3 日目を受講し**、審査に合格後、登録申請を行うことで資格の更新ができます。

表 2 再認証審査を受審する方の講義内容

日 程	再認証の 場合	講 義 内 容	時 間 割
1 日 目	<u>受講不要</u>	溶接指導に必要な一般知識 / 非破壊試験	—
		被覆アーク溶接・厚板と高張力鋼の溶接及び切断	—
2 日 目	必 須	半自動アーク溶接・薄板の溶接	9 : 00—12 : 00
		ティグ溶接、ステンレス鋼とアルミ合金の溶接	13 : 00—15 : 00
		自動溶接・ロボット溶接	15 : 00—16 : 30
3 日 目	必 須	溶接における品質管理と施工管理	9 : 00—12 : 00
		溶接構造物の強度と設計 / 安全衛生とその管理	13 : 00—15 : 15
	<u>受験不要</u>	筆記試験 (再認証の場合、受験不要)	—

表 3 の講習会からご希望の開催地と開催日を選び、同封の再認証申請書にご記入の上、申請してください。

表 3 2026 年度後期 溶接作業指導者のための講習会 開催予定 (再認証は 2、3 日目を受講)

該当者	開催地	開催日程	開催場所	申請期限
有効期限 2027 年 2 月 28 日 の方 と 有効期限 2027 年 8 月 31 日 の方	北九州	2026 年 10 月 6 日(火) 7 日(水) 8 日(木)	日本溶接協会 九州地区溶接技術検定委員会 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町 2-15 TEL. 093-881-5610	各開催日 の 1 ヶ月前
	東京	2026 年 10 月 14 日(水) 15 日(木) 16 日(金)	日本溶接協会 溶接会館 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 TEL. 03-5823-6325	
	大阪	2026 年 10 月 20 日(火) 21 日(水) 22 日(木)	C I V I 研修センター新大阪東 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-19-4 TEL. 06-6160-5888	
備考		2027 年度前期は、5 月後半に名古屋、東京、大阪にて開催の予定		

注 1) 申請者数が少ない場合、他の会場での受講をお願いすることがありますので、その際はご了承ください。

注 2) 講習会の受講者には、講習会開催日の約 2 週間前に「受講票」を送付します。

注 3) 講習会で使用するテキスト「新版 溶接実務入門(増補 4 版)」を受講当日必ずお持ちください。なお、テキスト代金は受講料に含まれず、日本溶接協会ではこのテキストは販売していません。当日会場では販売しませんので、テキストをお持ちでない方は、事前に次の方法で購入をお願いします。

テキスト申込要領を日本溶接協会ウェブサイト (<http://www.jwes.or.jp>) の溶接作業指導者の箇所から印刷し必要事項を記入の上、産報出版(株)販売部にて購入をお願いします。また、一般書店でも取り扱っています。

産報出版(株)販売部 (東京) TEL.03-3258-6411 FAX.03-3258-6430
(大阪) TEL.06-6633-0720 FAX.06-6633-0840

(2) 日本溶接協会主催の WES 8103 による「溶接管理技術者のための研修会」の場合

2 回目のサーベイランス以降において、日本溶接協会が開催する WES 8103 による「溶接管理技術者のための研修会」(特別級・1 級 4 日間、2 級 3 日間)の修了者は、溶接作業指導者再認証申請書の裏面に研修会修了証の写しを貼付し申請してください。審査の上、登録申請を行うことで資格の更新ができます。

(3) 他団体の講習会の場合

2 回目のサーベイランス以降において、公的な団体が主催するこの資格に係る講習会に延べ2日以上(受講時間10時間以上)参加された方は、上記(2)と同様に、溶接作業指導者再認証申請書の裏面に参加実績証の写しを貼付し申請してください。審査の上、登録申請を行うことで資格の更新ができます。

なお、(2)と(3)の申請期限は、表6を参照願います。

また、溶接作業指導者運営委員会が認めた溶接に関する講習会等の講師としての参加も実績となりますので、該当される方は問合せ先(3.4項)までお問合せください。

3. 申請手続き

ウェブ申請(e-Weld)には未対応です。

3.1 再認証審査申請書の提出

- 1) 写真(30mm×24mm)は、無帽、正面向き、上三分身で、申請日前6ヶ月以内に撮影したもの(裏面に氏名を記入)を貼付してください。
- 2) WES 8107による「溶接作業指導者のための講習会」以外の参加実績で審査を受ける方は、参加したことが証明できる書類(修了証等)の写しを申請書の裏面に貼付してください。
- 3) 職務経歴及び職務内容は、6.項の記入例にならって具体的に記入してください。
勤務先の証明は、申請者本人以外の方の署名・捺印を必ず受けてください。

3.2 再認証の費用

該当する再認証申請の費用(受講料のみ、又は審査料のみ)を同封の郵便振替払込書により郵便局から払い込み、郵便局から受け取った振替払込請求書兼受領証の写しを申請書の裏面に貼付してください。また、審査に合格された後、受講料、審査料とは別に、認証登録料が必要となります。

なお、WES 8107による「溶接作業指導者のための講習会」を受講する方で、各会場開催初日の3日前までに取消しの申し出があった場合、1,100円(10%消費税含)の手数料を差し引いた金額を返金します。

表4 再認証の費用

注1: 審査料は受講料に含まれます。

区 分	再認証の費用(消費税含む)	
	受講料	審査料
(1) WES 8107 講習会を受講する方(2日間の受講)	24,200 円	— 注1
	内訳 税抜金額 22,000 円 10%消費税額 2,200 円	
(2) WES 8103 溶接管理技術者研修会の参加実績で申請する方	—	13,200 円
	内訳 税抜金額 12,000 円 10%消費税額 1,200 円	
(3) 他団体の講習会参加実績で申請する方	—	13,200 円
	内訳 税抜金額 12,000 円 10%消費税額 1,200 円	

2025年3月からの新料金

払い込んだ受講料・審査料に対しインボイス制度に対応した電子領収証を発行します。日本溶接協会ウェブサイト「インボイス(領収証)のダウンロード」から文字列、氏名、生年月日を入力し電子領収証をダウンロードいただきます。(登録番号 T 5 0100 0500 4461)
文字列は、26 に続いて認証番号(半角英数字)、例 26WL9953 や 26WL111 を入力します。

表5 インボイス(領収証)のダウンロード開始日

払込日	インボイス(領収証)のダウンロード開始日
当月 1 日から 15 日	当月 25 日(休日の場合には翌営業日)
当月 16 日から月末	翌月 25 日(休日の場合には翌営業日)

3.3 申請期限

表 6 申請期限

区 分	申請期限
(1) WES 8107 講習会を受講する方(2 日間の受講)	表 3 に示す申請期限
(2) WES 8103 溶接管理技術者研修会の参加実績で申請する方	・有効期限が 2027 年 2 月 28 日の登録者は 2026 年 10 月 22 日が申請期限 ・有効期限が 2027 年 8 月 31 日の登録者は 2027 年 5 月 24 日が申請期限
(3) 他団体の講習会参加実績で申請する方	

3.4 再認証申請書の提出先・問合せ先

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

TEL 03-5823-6325

一般社団法人日本溶接協会 溶接作業指導者資格 事務局

FAX 03-5823-5211

4. 再認証審査結果の通知と登録申請手続き

再認証審査の可否の結果は、12 月下旬に書面にて通知します。合格者は可否通知に同封する「登録申請書」に必要事項を記入し、認証登録料 12,100 円（10%消費税含）を払い込んだ上で提出します。

5. 適格性証明書の交付

「登録申請書」と「振替払込請求書兼受領証（写し）」の受領を確認した後、新しい適格性証明書は現在所持されている適格性証明書の有効期限の約 1 週間前に送付します。なお、有効期限の切れた適格性証明書の返却は不要です。

6. 職務経歴及び職務内容の記入要領

再認証申請書の職務経歴及び職務内容欄には、記入例にならって、2 回目のサーベイランス以降の職務経歴と現在の職務内容を記入してください。

勤務先の証明は、申請者本人以外の方の署名・捺印を必ず受けてください。

記入例 1

職務経歴	職務内容
2024 ～ 2026 年 製造部 溶接班 班長	鉄骨の溶接及び班員の作業管理、品質確認、指導等

記入例 2

職務経歴	職務内容
2024 年 製作課 第 2 係 溶接班長 2025 年、2026 年 製作課 第 2 係 溶接作業長	主な製品はボイラ 現在の主な業務 溶接施工計画書作成の参画 溶接作業の管理、指導及び改善

7. 個人情報の保護

ご記入された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、試験結果通知、適格性証明書の発送、サーベイランス及び再認証案内の通知のためにのみ利用します。詳細については、日本溶接協会ウェブサイト「個人情報の取扱いについて」をご参照ください。

8. 感染症への対応について

- (1) 講習会期間中、毎朝、体調（発熱、咳、倦怠感など）をご自身で確認し、受講票の体調確認欄へのチェック印のご記入をお願いします。
- (2) 毎朝、受付時に事務局が体調確認欄を確認し、状況により検温へのご協力をお願いすることがあります。
- (3) 発熱、咳、倦怠感など感染症が疑われる症状がある場合には事務局に申し出ていただき、症状によっては受講を中止いただくことをご理解願います。
- (4) 講習会会場での受講者のマスク着用はご自身の判断に委ねるものとしませんが、咳などの症状が認められるときには、事務局からマスク着用をお願いすることがあります。
- (5) 感染状況の変化により、会場定員数の制限、マスク着用のお願いなど対策を実施することがあります。ご理解、ご協力のほどお願いします。